

対馬市

旧佐護小学校 利活用の事例

対馬市立 佐護小学校



対馬地球大学
TSUSHIMA GAIA UNIVERSITY

施設情報

閉校年月日	H25.3.31（2013年）
構造・年数	鉄骨2階建て 築39年（R7時点）
事業開始日（貸付日）	R2年12月1日
貸付範囲	旧佐護小学校 校舎と敷地
利活用者	非営利株式会社 対馬地球大学
住所	対馬市上県町佐護北里995番地
事業内容	飲食・宿泊・体験・教育事業 他

1：事業の概要

めぐ さと

佐護まるごと！“いのち環る 郷の学び舎”

【目指す像等】森川里海の恵み豊かな佐護。かつて学び舎であり、地域の想いが集まる旧佐護小学校を拠点に、佐護全体をフィールドとして、地域づくりや地域内外の交流を促し、「**食べる・めぐる・泊まる・まなぶ**」を軸に事業を展開している。地域の魅力に触れ、地域のファンが増え、Uターン等促進や、地域の担い手・さらなる元気づくりにつなげる。

食べる

食堂「さごんキッチン」では、地域の旬の食材等を活かした、佐護の女性陣が作る温かい家庭料理を味わえます。

めぐる

地域の最大の魅力は「人」。農林漁業や暮らしなど、地域の名人から生きる智恵・技・心に学ぶ、体験交流プログラムを展開。

泊まる

小学校の懐かしさを活かし、教室を改装した男女別ドミトリーと個室のゲストハウス。長期滞在含め、地域に滞在し魅力を体感。

まなぶ

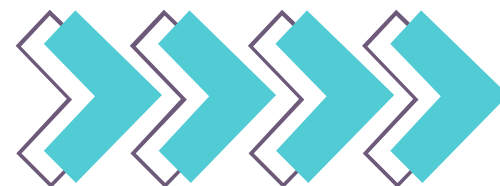
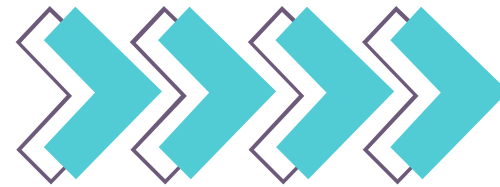
地域の名人から、体験交流を通して学び、島内外の持続可能社会づくりのキーパーソンに学ぶ教育プログラムを展開、現在構築中。

2：廃校利活用の経緯



これまでの課題

- ①対馬北部の観光・地域案内拠点の不足。
- ②佐護には、森・川・里・海の豊富な資源（食材）があり、また対馬野生生物保護センターには毎年1万人以上が訪れるにもかかわらず、飲食店がなかった。
- ③地域の名人から、体験交流を通して学び、地域の魅力に触れる機会が不足していた。
- ④元々は民泊3軒のみで滞在施設が不足。



廃校利活用で得られた効果・メリット

- ①対馬北部の観光・地域案内拠点が生まれ拠点開始から4年で交流人口2万人増加。
- ②食堂「さごんキッチン」が開業し、地域の人や美味しい食に触れる場が生まれた。
- ③体験を通し地域の名人に学ぶ機会がある。
- ④ゲストハウス開業。長期・団体宿泊可能。